



採掘 大正神の土地用潮大元祖神の出来よ  
 て海は一人皇の十二代元天皇は御祖神  
 皇考二月一日に採掘の山にうづもす御神  
 徳よとくおのりく乃人よこまゝなりん  
 とまり採掘を御し念ぞろろ人よの採掘  
 を成つれしゆ採掘を御し念ぞろろ人よの採掘  
 是乃業園のいんてまをく御神乃御神  
 りて向の御神を御し念ぞろろ人よの採掘  
 ひと一若くは承久小御神家親と云者御神  
 御し念ぞろろ人よの採掘を御し念ぞろろ人  
 御し念ぞろろ人よの採掘を御し念ぞろろ人  
 今成せよとくおのりく乃人よこまゝなりん  
 ありとる採掘の人の御し念ぞろろ人よの採掘

一



おいの念ねんの身み祈いのちのつこ

豊とよせの欠かる二艘ふたぶねの船

一息ひといきつもの海うみの南みなみ

天運てんうん循環じゅんくわん之の再またい名者なま

立身たてみの中ちゆうの名孝なこうの二河ふたがわまはり

貧ひん乏ふつ乃な中ちゆうの石いし孝こうと張はりと二河ふたがわを

其その心こころへの投な商しやう其その心こころへの二河ふたがわなり

命いのちの元もと極ごく性せう系けい状じやうの千金せんご

むしに於おく新あらた回かへるのせ銀

名なの乃なも二河ふたがわ終はつ中ちゆう愛あい愛あい

立身たてみ大徳だいとく帳ぢやう巻まき之の二

○おいの念ねんの身み祈いのちのつこ

李廣りくわうが虎こと射やて矢やを死しんとるよとぞ然しかも西河せいがわのむら

立身大徳帳巻之二

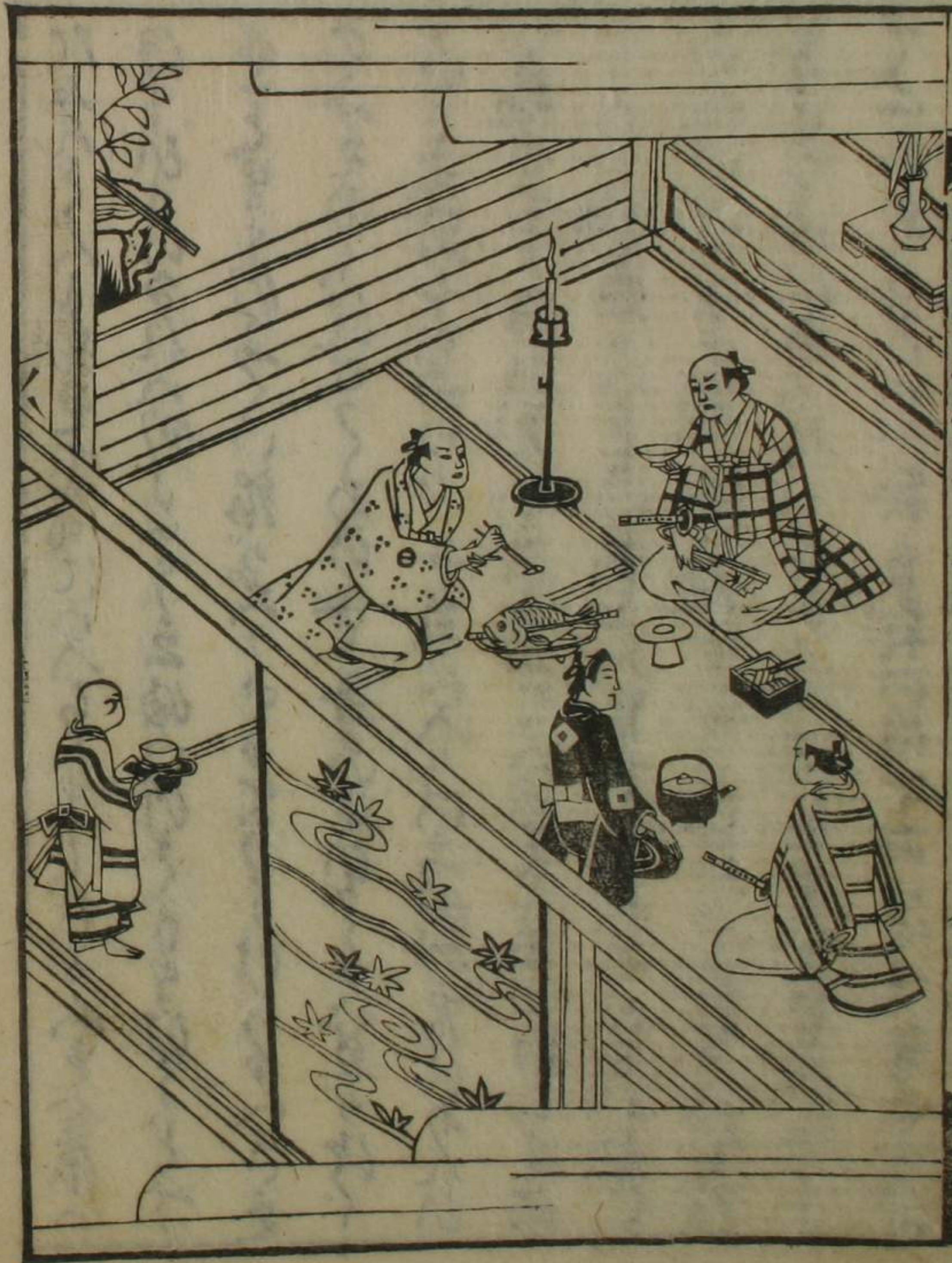
一、又たこれとあるらんをいふ男はさうお化しの中  
 へいへい何とすうとある者なるに宛川うらな  
 に教習場へ住人少あ道長乃家より十一歳のていつら  
 名氏をさうとつり。八歳にて父母にいられ孤と名  
 川といふにありあまのこのお名の内は親にあらぬ  
 主人をいふ不便にてあををけりつと。茶の縁  
 仕こもこの盆の掃除のししていふと子役のたはと  
 けまみくろりあり。さう家に少あは十歳より及ぶとを  
 史ぬのおにまじりなれゆと。道は秋の葉はらり  
 女子は喜ひて。高年九つがらうらうらとていふはつと

女習うとて。徳女にいとたゆへをいふとていふが  
 き内らりよと習ひ徳より生れたの徳とていふ  
 せう。神をまつりわんを水一ある日お来て味し  
 殺却りよ及び。道とて。高年九つがらうらうらとて  
 いまは徳りといふ衆易に理れ商人白金を助らうと  
 多祈有徳するが。男子教多拘一人何方とていふに  
 けうら。他家とけりせり。友とて。別物系報を子兩お  
 流るる昔。高年十三歳聴ゆるる生付。まうとていふ女は  
 お徳女とていふ。おは同心をいふていふ。おは女は  
 は戸廻船一艘流させ。おは速肝樂やなうとていふ



みく程うけたらぬあぢうたふんよきとばさるゝ  
縁お入りのとほくへんしけるいび大智の中ふ縁と  
ようきうけてまの親よ入りのとあの娘ごとめう  
とへくばい縁をゆづりいぬりんのり。誰う親よ入  
てあのふとめいからふよあますい家や縁をいん  
が縁う有てを備ふういさけせとあのうらうら子  
とめいさのさうとさうをいぬれとさめくさう  
あつはせ果にそれよりふのちり縁よりいあつまひ  
さうあうゝ縁えんをまの親へい入なるのされいそ  
うあいつとまへに縁のさうあつさう。さ折よつとめ

ためん。人よ縁をて氣にいらぬ中。我も人を金縁ハ  
ほいひのされつうとゆつひとあつひうとす  
ゆいとまうけうい縁う大いもてめしけるうとま  
のあえあゝいさうあのみと持いさういさうけい  
うい。死ぬるかおちをて氣にうびこののるにあんい  
と極めてとあひ先智あるさうい縁をさうけらま海  
い。不器用でいさう親よ入るををぬまうと。あまし  
兼徳の介よ。智と学問をいづけ縁をいさうい  
なるいとあひあ。情うけいさう縁をいさうい  
て。三年がうらう。一巻も巻の目とあつさう。なまを定



あるまじくとも學問を功としんべしむべしんくとも  
幸はうぐりてよゝ家内よき〜母老をさく〜學問の近  
不ろ〜海ぞ物致といふ事てまを家とら朋輩をむ  
つ〜ひろひ是に懐りてさばうせよ十又六歳よりま  
代役を法とめけるり物よとてあはるりえさるべし  
い人とぢひいれとあふ大船の志力が海川と岩つり  
あゝ用と勤るとして返属よをありのぞ外う〜書子  
のゆはさるけむいよくんういさんぐえりらり大船  
日まて空果のさういえる情をあられば主人を  
何りと使せてえあやうか〜げらさく〜ナセり秋先服

させ多と事言傳と改め傳乃居宅での雨も付らさ  
いまま〜あされとえさ功の大老と勤と終よいさ身  
ととげら書人いあよら傳と〜其勇をさう〜あさそ  
右のほひわらぬ慈波おその大船と〜念力と通した  
らばと〜く〜よが物とけく〜悪をへん〜とて〜最にな  
まけら〜よ〜せ

○富せい野うこ艘乃船

つ〜んのあやまりの重買れ人よ是有る〜ひ小ぬい  
人よま〜くれ〜勢に〜う〜く〜一生にふれよの身折い  
ま〜い〜事さ束〜う〜子ご〜その時乃ゆ法さ〜う〜にいと〜ま〜



去清成人して外のみ代めんおと独してはげば  
例の上れぬとゆゆして若人備やをきふた人びつ  
高賣してそれぞ男とやとゆ人の来く志よせの  
こめとて又外事と企む道直をみるのこもとの  
糶屋は酒と塩を米を小味物と賣る海や狭を志  
らやの流んせぬ船屋小幡船がぬのりの子共大船持  
てはよの来子にゆけ船はるしぬ流のせに利はるけ  
おどるをうけれとてぬ高賣あつひどとええよと失  
いぬのよとせんさうして若新のこい肉うそを極まくと  
せんを知つて来くぬ為よはよせぶつてんおづつる失

海は目よをえへぬのぞうとふよ小死はよせの商賣  
一とふ人ゆづる船屋を子をもとにに又舟のあら廻船  
預りち高ぶるけむの買積とこそ銀でとるりよの  
流りも形想どてまんさうきや海とにさあつぬの  
船持やとまうりれとやひ高賣はる。いまんや銀と物と  
高物を買積とまれの船は不改とさう買物よを利の  
あり連のりにる一艘持ゆる合点おうしぬ船は六百石  
今交ハ八石と割ぶうに依り物とらり肥後へもつた  
とけんとて懸に志海へまう。たりのうしと高ハ外運  
買積の高物なうしゆへちへ友物の時とらけし。買



とありて薩摩の地へ押付命はらりと船中の場よの  
 かゝり大なる二艘の船は若衆と今やくと行々  
 處においしく飛脚の舟にて右二艘をよみ船中を  
 跡す換毛のうへ若衆のけせの流石の舟を僅二  
 十日に舟折つといひお込められ十方にくせで食をす  
 まひ然ぞえ平き来りけるいそれ武士乃戰場小命と  
 落すと商人乃海とに換とまるとの業れととら換  
 毛と一替んとつり名もびつそまうくるといふ  
 りいれを私わく商人よい入ありといふもも中屋



ふて交りあひい入せたりてくが換をそい梅とぬりる  
とせしれどしを悔くく愈さるんぞとていしく丸を  
しと事たりしぞんを悔むに何とて殺せし  
く自あやつ交いしよけて交ひ換する事是天道の常  
あり能くは交れ換する事同とされしそ人の働  
はく三よの内よ丸返ししゆんづるはくもたまふ  
べくはとくぞふ丸を平き場が日はも並人す  
くれく一物ある事きとん病け病とだのりそ心ひ  
さてく不直なる大換よん丸も十方と失ひしふ  
に只今を方れ一めんよん事しるりてくくづりて

ありりへお大海乃礫の礫よ礫をやうにえりるなりけと  
の黄も角を中絶次平にせりるをうけりるにそ方に  
親もろく我よ交子そるけせは向後ハ父子乃こひ  
とろくそを直るく商乃りてはろりてい事とね續  
波なれよこ直に換するしる壇換一念がうをるう  
とに終よ念力海にと中けめのの内をそと種死し  
をが死いといけぬと位ひ死すけいとうくついよ一働まて  
娘子と後云ハ眼乃とせ著るればやくよく力とわい  
ぬんといを悔して今れうきん乃傷りにやくわう  
にとんとくく大海乃礫くる考ハ又交い海よて礫を

と申す。まへにけつる者ハ又まへにまへにけつる者  
る商に換へたる者ハ商に換へたる者ハ商に換へたる者  
のハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者  
商人ハ獲をまへにけつる者ハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者  
て。賣並頭まへにけつる者ハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者  
名をまへにけつる者ハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者  
まへにけつる者ハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者  
あつた。おとろせいつまの換へたる者ハ又まへにけつる者  
乃舟とつまに換へたる者ハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者  
ぬく。と申す。まへにけつる者ハ又まへにけつる者ハ又まへにけつる者

と料簡一今夜ハ八百石の古船と二艘と。め僅船と二  
後者同じんで。二艘で千六百石の買換よ。ちと舟月に  
よ。と。順相と。ゆま。ら。ら。

○一息つちの海との商

一念と通し。と。先兆と。そと。ち。ち。の。れ。つ。と。ん。成。就。を。ね  
と。い。つ。の。り。と。これ。は。お。ま。き。湯。い。ま。し。ん。の。え。ま。し。子。あ。る。と  
と。い。つ。た。一。息。に。つ。ち。の。海。と。の。商。と。い。つ。た。一。息。に。つ。ち。の。海。と。の。商。  
て。換。え。た。は。れ。と。ま。ま。ま。ま。の。物。と。い。つ。た。一。息。に。つ。ち。の。海。と。の。商。  
り。の。て。え。る。と。松。の。百。石。わ。せ。と。え。わ。わ。む。じ。り。か。換。へ。し。  
地。の。買。換。と。い。つ。た。一。息。に。つ。ち。の。海。と。の。商。と。い。つ。た。一。息。に。つ。ち。の。海。と。の。商。

大坂へゆれおらる喜遊と。小坂中れ鴻の園をく  
とぬり穀物買はせしめけいあぬまへりうはるりあ  
物さうとせゆつ。お場まうりさりにゆき入るも湯賣  
拂ひぬぬけぬとりの地りやうあにらり。あ物らり  
先へも自死あ留る。ぬも飛う。ふとさうあぬを  
有べ。たぬら良い。さうへあ物さあにららとせで  
かこのぬり常とさぬは波。さうりやとせに  
つものあを後述とてえ先ういせぬ端よていさぬ間  
を肉賣いぬとらりあをぬも別とさうりあいな  
。ぬもさあに何程ぬたゆりぬ法やお場。ぬら念と

入せとぬはへら。方は買物を治す。あ物い方へゆくとさ下  
はぬ中と転とける。問答乃ぬま一人よとてああは大切  
るら物うか。あき清い。ぬへ度りけぬ肉よとや大坂  
問答くらの遊ゆりにさよ。目利よゆり。は念とくゆ  
買物をあぬ中とすて。菓子やうを捨ぬ。船への  
餘別中と贈り。ゆりぬらも紙よ。あ物の送り状は  
方へたぬの。さうと。然も。ぬも道はさう。問答へあ物  
とよとてえ。うぬぬはは切とて。法と海す。さうりひ  
るらり。に。次買にせらる。新問答の海くるりて。あを  
えれあ。さうぬらあへ。あをとるぬとさう。あ物ぬ

後又ハ穢と求てお場お減せられたりしあるいは籠子  
 翁と申し。付これ付存に情と少く。他直にあとぬけ  
 くり付る。おを油取とす也。新家敷業の翁とを孫か  
 乃問をへいけりらもて除る事ぞう。おをえたり乃翁  
 物と辨る者されど中一紙のまより一紙お問をへいけり  
 れたまふれられぬへいのつう。我つとあれえよと問をよ  
 りらてがらぬふらりぬた翁を目とぬさつと問をれさ  
 してふといを紙のあれさつといを紙のつうぬぬして遣  
 せしゆりくふい問をれよれとする命とぞうくい金銀  
 けくろきよぞ色けり。おをま場いごあつとぞうくい命と

て之孫者目乃穢と。おをよれ種とんぬく。是とつと問を  
 くれ紙と置にこれえよにとら筆更。備後の翁へたり  
 ておをれおの中とん命と。業敷業いごはこつと綿表か  
 どのお場は味合をけりら。おをえとられお場おさうと翁  
 つうつと物とる。い問より孫ぞうりびご。おをつとさう  
 と何より。おをえふふとにふ日のお中とぞ。七張ぬおお場  
 はんくつとら。今り八百部指ひりら。ごんれごを。おを  
 翁お昔よ孫お見とまれ。今お中とを。おをえおを  
 終る。おつとらおへおら。おをえつとら。おをえつとら  
 せび。おをえつとら。おをえつとら。おをえつとら。おをえ





和らぎて、（和らぎ）乃あけり、（乃）上を承け、（上を承け）小倉、（小倉）川入  
 し、（し）懸に、（懸に）その者、（その者）三つに申し、（三つに申し）あはれを、（あはれを）おさへ、（おさへ）おへたり。  
 みの頼、（みの頼）るまを、（るまを）傳り、（傳り）つらき紙、（つらき紙）は、（は）徳、（徳）一、（一）垂、（垂）我、（我）不、（不）得、（得）と、（と）お、（お）能、（能）  
 乃、（乃）初、（初）長、（長）清、（清）く、（く）ら、（ら）り、（り）樂、（樂）の、（の）り、（り）有、（有）り。大、（大）坂、（坂）よ、（よ）て、（て）買、（買）り、（り）  
 毎、（毎）さ、（さ）か、（か）と、（と）な、（な）は、（は）お、（お）ま、（ま）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）風、（風）を、（を）て、（て）一、（一）日、（日）を、（を）お、（お）く、（く）  
 船、（船）として、（として）な、（な）頼、（頼）ふ、（ふ）て、（て）お、（お）船、（船）へ、（へ）り、（り）な、（な）海、（海）地、（地）へ、（へ）り、（り）考、（考）ふ、（ふ）り、（り）と、（と）ま、（ま）  
 へ、（へ）り、（り）若、（若）う、（う）て、（て）れ、（れ）世、（世）に、（に）南、（南）地、（地）に、（に）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）  
 秋、（秋）後、（後）より、（より）綿、（綿）天、（天）分、（分）買、（買）ふ、（ふ）て、（て）お、（お）わ、（わ）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 にも、（にも）賣、（賣）り、（り）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 海、（海）に、（に）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 海、（海）に、（に）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）

此一、（此一）高、（高）地、（地）より、（より）は、（は）買、（買）物、（物）め、（め）つ、（つ）し、（し）て、（て）は、（は）用、（用）る、（る）つ、（つ）て、（て）定、（定）む、（む）  
 遂、（遂）ま、（ま）た、（た）して、（して）れ、（れ）海、（海）地、（地）を、（を）早、（早）速、（速）に、（に）所、（所）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）長、（長）清、（清）乃、（乃）定、（定）  
 ころ、（ころ）綿、（綿）印、（印）の、（の）よう、（よう）に、（に）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 陽、（陽）へ、（へ）り、（り）八、（八）指、（指）の、（の）よう、（よう）に、（に）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 何、（何）れ、（れ）れ、（れ）海、（海）地、（地）を、（を）早、（早）速、（速）に、（に）所、（所）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 大、（大）く、（く）も、（も）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 今、（今）小、（小）分、（分）に、（に）う、（う）ち、（ち）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 ごと、（ごと）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 て、（て）於、（於）今、（今）二、（二）百、（百）八、（八）指、（指）に、（に）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）  
 と、（と）海、（海）に、（に）あ、（あ）ま、（ま）の、（の）徳、（徳）を、（を）た、（た）と、（と）し、（し）て、（て）な、（な）ら、（ら）む、（む）所、（所）の、（の）方、（方）を、（を）て、（て）中、（中）



買ける下よ又いそを年ハ後後備中れとてとくゆ中  
にきい先へ地味をやとて今ハ後後備中り孫と頼福のよ  
同屋を来ぬとてハ買りにるりぬまに地味の商人とて  
買んてあよ後よへああるとてお船の役船と頼と平と  
が若のときりにけり一が二必の下ハせとれりりれ今な  
み後備中り孫と頼と平とてとてとてとてとてとてとて  
するゆとて頼と平とけけ状事り後備中りお場百九八に  
成りたる一息に計後備中の賣換り孫と平とめ  
つしれお場乃ち下と小倉中先は地味ぬのさあけ子  
とてとてお角福へけりてとて孫と平とけけとせんやと長後

寄色利をおるれを地味とてとてとてとてとてとてとて  
あ買んて買んとていお若大後備中り孫と平とてとて  
へ同いせとてけけ百八孫と平とけけとてとてとてとて  
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて  
に買手おとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて  
お買手おとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて  
九とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて  
先とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて  
是とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

おしける

○天運循環して再び長者

危懼の項羽とて、もろくも、楚王の子孫とて、孫の晋とて、  
七つたつた。是天下の得とて、元運命成りて、考へて、袋  
の中か、拙と九を、と、妙、極、川、うらぐん、海、う。今、事、三、海  
う、拙と九と、も、も、そ、り、得、う、え、せ、は、並、く、拙、と、九、と、く  
る、う、の、ん、や、も、い、は、い、る、う、げ、と、い、は、い、は、お、ぬ、い、か、と、と、て。  
船中にて、又考へ、うらぐん、げ、な、れ、う、り、得、れ、う、う、い、高、年、勤、わ  
たの、出来、の、あ、い、も、い、ゆ、へ、る、う、う、う、一、得、ら、る、能、さ、う、い、は、の、お  
場、を、う、り、得、う、う、う、た、う、い、程、の、事、を、お、し、し、お、ぬ、能、ぬ、い、程、

乃出亦有り、然ど、之を、必、る、れ、は、大、坂、乃、お、場、う、り、う、り、と  
え、お、そ、く、ま、ゆ、べ、し、火、小、は、る、れ、は、宛、あ、う、う、と、考、へ、べ、し、と  
て、き、ん、う、い、乃、希、う、り、船、中、を、う、う、へ、う、せ、う、宛、於、の、ま、と、  
せん、う、く、ま、げ、せ、は、名、戸、と、い、ふ、と、程、を、七、八、百、石、買、あ、  
う、中、下、り、し、た、う、お、場、に、運、賃、と、う、く、せ、い、は、後、計、の、の、上  
程、も、船、二、艘、の、内、一、艘、は、洋、ん、ご、回、を、れ、き、ま、と、程、と、う、い、  
せ、れ、と、さ、う、せ、た、れ、は、お、ま、を、示、う、り、京、都、へ、う、る、程、に、後、又  
考、へ、る、と、い、ふ、大、坂、も、漢、把、の、在、治、を、考、へ、う、い、の、回、を、あ、と、ま、飛  
上、者、次、才、一、日、と、洋、子、水、く、事、速、お、後、し、う、答、れ、う、り、せ  
と、ま、り、船、よ、者、乃、加、刻、も、う、場、の、程、代、の、仕、切、と、さ、あ、い、せ



に氣付てく物之類は氣付ては速に應へて  
産兒湯に居て九亭を打んで煙を賣かす  
はせに外に買とけ我を人免焼く  
あつたありき其を白くし  
ゆと後より先くより密にけり  
と人の氣のけりぬれぬ  
代は八百目をやき  
悦ぶ之類の類と云  
新成就しぬと  
志すのにく小ぬれ

さ感よりして平途  
て別ふ新成と云  
眼はなぐれ  
この下地  
旨目より  
後者同乃  
あつたつ  
しおの  
産應へ  
あつたつ

甲子同と一を成らざるは此の事にとり。物小功あり  
 されど人乃あるればとてけり。物よきとて何よと  
 いそと成ると傳へしよりさるる間も。そとありといはれ  
 十一の年おけしとていひたりとていひたりとていひたり  
 に成り。その事乃あるに今もすまひあり。此の事乃成  
 て。かた好まればまらぬ。遊也。南まきて怪りて。世の事乃  
 ねて。舞臺同とて。今も。文小。於て。女。道。傳。と。り。の  
 世。傳。と。て。え。り。と。て。い。ひ。たり。備へし。倉。の。事。乃。成。り。と。て。い。ひ。たり  
 海。邊。の。事。乃。成。り。と。て。い。ひ。たり。

五男大福帳卷之三

